

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2025年度)

施策コード	32
-------	----

まちづくりの方針	3 産業・環境・市民生活
施策	2 商工業・雇用・消費者対策
施策のめざす姿	中小商業者が店舗の魅力を高めて販路を拡大することにより経営が安定するとともに、新たな産業が生まれ、にぎわいのあるまちになっています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
製造品出荷額等(万円)【観光・プロモーション課】	11,508,849	10,461,232	11,327,981	11,854,079	—		12,108,849	12,608,849

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 商業の活力強化【重点】	観光・プロモーション課	<p>商工会議所による創業セミナーにおいて、184名が参加し、市内で5名の創業者を輩出した。</p> <p>津島商工会議所と連携し、起業環境整備により創業者数を増やすこと、市内事業者に対する様々な支援を実施することにより、商業の活力強化を推進する。</p>
2 工業の活力強化【重点】	まちづくり事業課	<p>都市計画法の指定区域において、15社が操業を開始している。</p> <p>既指定区域については、引き続き企業進出の支援を行うとともに、百町区域を始め、新たな企業誘致区域の検討を進める。</p>
3 雇用確保と市内での就業の支援【重点】	観光・プロモーション課	<p>海部・津島合同就職フェアには26社の企業が参加し、131名の求職者が参加した。</p> <p>移住及び地方就職学生支援事業として交付する「移住支援事業補助金」、「地方就職学生支援事業補助金」の財源については3/4を県補助金としていることから、今後も県の動向を注視し方向性を検討していく。</p>
4 消費者対策の推進	観光・プロモーション課	<p>海部地域消費生活センターの相談件数は1,621件、うち津島市民の相談件数は349件となっており、前年と比較しても増加している。</p> <p>海部地域7市町村との協定のもとに運営しており、引き続き相談体制を充実させ継続していく必要がある。</p> <p>相談員の研修参加などを支援し、質の高い相談体制の拡充に努め、消費者被害の更なる抑制を図る。</p>

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	<p>事業者が安心して経営できる環境づくりのため、各種融資制度の周知に努め、創業機運の醸成を促すため、津島商工会議所などの関係機関との連携による創業セミナー等の開催や「地方創生津島天王通りウォークブルストリート事業」による、空き家物件及び活用事例見学会、空き店舗を利用したイベントの開催等により、参加者の出店意欲を高めることができた。</p> <p>指定区域の増加に伴い、企業誘致できる区域が増え、進捗率は43%となった。引き続き他地域での指定区域化を考えながら、市内雇用の充実を図っていく。</p>	評価
			B
			方針
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	<p>施策のめざす姿である「中小商業者が店舗の魅力を高めて販路を拡大することにより経営が安定するとともに、新たな産業が生まれ、にぎわいのあるまちになっています。」を達成するためには、創業機運の醸成に加えて、人口減少・少子高齢化が進む中で、地域経済の活性化・地域機能の維持に不可欠な中小企業・小規模業者の廃業を抑制することが必要であるため、その対策として、ハローワーク・津島商工会議所等と連携することによる就職フェア、企業説明会の開催や県との連携による個別相談会の開催により雇用確保と市内での就業を支援していく。</p> <p>市内での起業環境整備を引き続き補助するとともに、企業誘致は他地区での指定区域化を積極的に推進し、地元の求職者をできるだけ多く雇用する。</p>	継続